

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	10	課題区分	C	令和8年4月30日
横断的な課題	収益性の高い農業・国際競争力の高い観光業の振興					
地域重点政策	北信州の自然を活かした、収益性の高い農業・国際競争力の高い観光業の振興					北信地域振興局
実施機関	北信地域振興局			担当課	所属	北信建設事務所整備課
事業名	広域サイクリング推進事業(モデルコース整備事業)			電話	0269-23-0793	
				E-mail	hokuken-seibi@pref.nagano.lg.jp	
事業概要	目的 (目指す姿)	北陸新幹線飯山駅開業及び北陸新幹線延伸効果を、ウインターシーズンのみならず、グリーンシーズンへも波及させるため、サイクリングモデルコースを整備し、観光誘客や地域振興を図る。				
	現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度までに、「Japan Alps Cycling Road」のルート上の国道及び県道への矢羽根や案内看板設置は完了した。</li> <li>利用者の増加や地域振興に結び付けるために、PR活動の推進や走行環境の整備が必要である。</li> <li>令和6年度にサイクルモードの参加者にアンケート調査を実施したところ、どのような整備が必要かという設問に対し「きれいな舗装」という意見が多く、利用者の増加や地域振興に結び付けるためには、安全性が高く走行性の良い舗装の整備が必要である。</li> </ul>				
	内容 (変更後の内容)	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域振興局商工観光課などと連携し「CYCLE MODE東京(4月19~20日)」へ参加し、北陸新幹線延伸により増加が予想される首都圏、関西圏のサイクリストに対してPR活動を行うとともに、課題や要望等についてのアンケート調査を実施し、今後のPR活動、走行環境の整備を促進することにより、利用者の増、地域振興につなげる。</li> <li>手法：直接聞き取り及びFormsを用いたアンケート調査</li> <li>目標サンプル数：150件</li> <li>調査内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>①利用者自身の基本情報(性別、年齢、居住地、経験等)</li> <li>②サイクリングの計画で情報を得るために使用する媒体</li> <li>③サイクリングの計画で行先の決め手となる情報</li> <li>④サイクリングで利用する施設</li> <li>⑤サイクリングルート上にあれば快適と感じるもの</li> <li>⑥サイクリングをどのように整備すべきか</li> <li>⑦長野県でのサイクリング回数、JACR、信越自然郷ルートの認知度</li> <li>⑧おすすめのサイクリングルート など</li> </ul> </li> <li>自転車交通量調査の実施(別途費) <ul style="list-style-type: none"> <li>①令和7年10月21日(場所：中野市壁田(古牧橋手前) 24h：7時~7時)</li> </ul> </li> <li>舗装修繕の実施(別途費) <ul style="list-style-type: none"> <li>①(一) 曾根藤ノ木線 飯山市 北条~藤ノ木 L=約369m</li> <li>②(主) 飯山野沢温泉線 飯山市 前坂 L=400m</li> <li>③(主) 飯山野沢温泉線 飯山市 笹沢 L=80m</li> </ul> </li> </ul>				
事業期間	令和7年4月 ~ 令和8年3月					
事業費等	(単位:円)					
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考		
	広域サイクリング推進事業 (モデルコース整備事業)	「CYCLE MODE東京」でのアンケート調査及びPR活動	129,410	職員旅費 信州中野~東京(2泊3日) @43,390円×1人【43,390円】 須坂~東京(2泊3日) @43,620円×1人【43,620円】 長野~東京(2泊3日) @42,400円×1人【42,400円】		
	合計		129,410			
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況	
	アンケート調査人数		150人以上	104人	○ 達成	
	課題・要望等の把握		10件以上	31件	● 一部達成	
	自転車交通量の増加(合庁前・交通センサス)		30台/日以上	22台/日	○ 未達成	
事業実績・成果	【事業実績】					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート調査人数:104人 (内訳 サイクルモード東京:104人、サイクルモード大阪:参加せず)</li> <li>課題・要望等の把握:31件 (内容 きれいな舗装、分かりやすいルート案内、休憩施設など)</li> <li>自転車交通量調査:22台/日(調査日:令和7年10月21日)</li> </ul>					
今後の方向性	今後も、関係機関と連携し、積極的に自転車利用者の声に耳を傾け、利用者の増加につながる快適な走行空間の確保を図るとともに、グリーンシーズンにおける観光誘客や地域振興に向けたPR活動に取り組む。					